

今月の

ピッコアッコ

生薬

漢方薬として使うときは、おしっこを出しやすくするなどの働きも期待します。



展示番号 No.20

2月 牛蒡子

ゴボウシ

用途 (どんな時に使う)

解毒、消炎など

どんな植物

いわゆる、ゴボウです。ゴボウは、キク科の植物です。多年草の植物で、茎はよく別れて2~3mに育ちます。アザミに似た花を咲かせます。私たちがキンピラなどにして食べる根の部分は、日本以外では、食べないことが多いようです。

ゴボウは、もともと日本には自生していなかったと考えられていますが、昔の人のゴミ捨て場でもある、縄文時代の貝塚から見つかっているのです。かなり昔から日本に持込まれたようです。

現在は、食用として栽培されていますが、ゴボウの実が、ゴボウシと呼ばれる生薬になります。別名、悪実(あくじつ)とも言われます。これは、実の部分が、とげとげしく形が悪い、というところからつけられた名前です。



今月は、牛蒡子(ゴボウシ)です。タッチパネルモニターもご覧ください。

使用部分 (つかうところ)

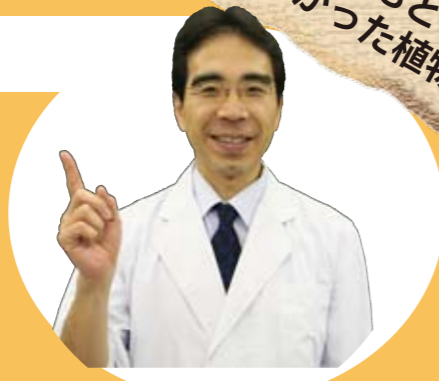
果実



ゴボウの実です。普段食べる根の部分ではありません。

産地 (とれる所)

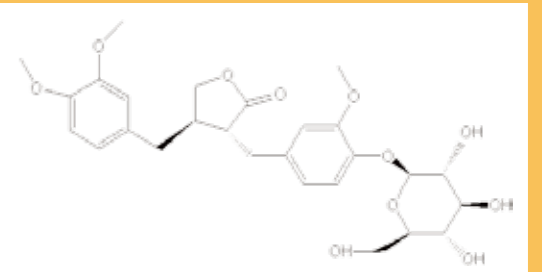
中国、韓国、日本



ゴボウはもともと日本にはなかった植物だとか。

化学成分：アルクチン (Arctin)

アルクチンは、キク科の植物に含まれる化合物です。リグナンという分類に属する物質です。リグナンは他の物の酸化をおさえる、抗酸化物質として知られています。このアルクチンは、がんの発生を抑える働きを持っていることが分かりました。



アルクチン (C₂₇H₃₄O₁₁)

来月は、No.14 の桂皮(ケイヒ)を取り上げます。

※実際の医薬品としての効能などについては、薬剤師や、医師にご相談ください。